

平成27年11月26日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

池本, 板倉, 鎌田, 佐藤, 菅, 園田, 高橋, 田中, 名和, 羽田, 平勢, 榎屋, 松田,
真鍋, 安富の各教授

青山, 李, 池亀, 小寺, 鍾, 馬場, 森本の各准教授

海外渡航者

大木, 黒田, 中島の各教授, 塚本, シルツの各准教授

議事

11月12日開催の教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について、資料P6のとおり1件。
2. 各種研究助成等の募集について、資料P6のとおり1件。

報告事項

3. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 教育研究評議会(11月17日)

①特別荣誉教授候補者の審査

審査の結果、特別荣誉教授の称号を梶田宇宙線研究所長に授与することが決定した旨報告があった。

2) 科所長懇談会(11月17日)

研究資料の保存年数、方法等に係る本学としての指針について意見交換等がなされ、来年度には本学としての規程等を制定するとの説明があった旨報告があった。

3) 拡大入試監理委員会(11月24日)

平成28年度大学入試センター試験及び前期日程試験において、当該期間には出張等の予定を極力控えて体調管理に留意し、試験監督等の要請があった際は協力をお願いしたいこと、試験関連の事柄には守秘義務が生じること、学部入試当日は緊急地震速報装置が停止されること等説明があった。

4) 科所長会議(11月24日)

①本学の防災体制

本学の防災指揮系統、災害時の参集基準、初動の行動指針等の概要について説明があった旨報告があった。

②東京大学女性研究者ネットワークイベント「UTokyo Women 研究者ネットワークを作ろう！2016」

昨年度に続いて同イベントを開催するため、男女を問わず参加いただきたいとの案内があった旨報告があった。

5) 教員の海外渡航（報告）

総務委員会にて資料P 27～28のとおり7件を承認した旨報告があった、

6) その他

①平成29年度教員採用可能数再配分の申請について、一昨年度、昨年度に引き続き、新世代アジア研究部門の強化・拡充を目的として、准教授1名の再配分を申請する旨報告があった。

②教養学部より照会のあった前期課程基礎科目 初年次ゼミナール文科開講について、本研究所からは1講座開講することし、これを名和教授に担当いただくこととした旨報告があった。

③教育・研究用少額設備の整備支援経費を用いて、1階ロビーにプロジェクター他一式、3階大会議室にディスプレイ他一式が設置された旨報告があった。

④本研究所への支援を目的とした寄附金について、創立75周年と関連して使用する方向で検討を進めたい旨報告があった。

4. 各委員会報告

1) 情報・広報委員会

池本委員長から、資料P 11～15に基づき、10月17日に開催した今年度公開講座のアンケート結果（自由記述部分）について報告があった。続いて、聴講者等に公開講座以外の研究所関連の情報を提供できるよう「東文研友の会（仮称）」の設置を検討していること、創立75周年に向けて、創立50年以降の25年間の研究所の各情報を集約した記念誌の発行を企画していること、今週24日に「要覧（活動報告書）」が刊行されたこと、来年度も引き続きオープンキャンパスに協力する予定であること等報告があった。

2) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長代理から、次回教授会にてセンターワーキング・グループにおいて検討したセンターのミッション、機関推進プロジェクト等の見直しについて答申する旨報告があった。

3) その他

①鍾研究企画委員会委員から、本日14時15分より葛特任教授の報告による第3回定例（着任）研究会を開催する旨案内があった。

②小寺図書委員長代理から、先週20日に開催された図書行政商議会において、来年度以降、全学共通経費対象外とされた雑誌のうち、不定期雑誌は図書扱いとすること、少数言語の雑誌は平成26年度の全学調査での全ての要望を対象に検討すること、新図書館計画に関しては、納品業者が決定次第、自動化書庫に係る説明会を

実施すること等報告があった。

③森本レクレーション委員から、本日夕刻に忘年会を兼ねて開催する創立記念パーティについて改めて案内があった。

5. その他

菅副所長（ハラスメント防止担当者）から、本日13時15分より今年度採用者または過去4年間未受講の教職員を対象としたハラスメント防止研修会を開催する旨改めて案内があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員から（大木教授、古井准教授は高見澤所長から）説明があり、資料P16のとおり4件を承認した。

7. 委員等の応嘱について

該当教員から説明があり、資料P18のとおり1件を承認した。

8. 非常勤講師等の応嘱について

高見澤所長から張助教申請分1件について、資料P18に基づき説明があり、承認された。

9. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P19のとおり2件を承認した。

10. 研究協力者の申請について

羽田教授から、別添資料に基づき説明があり、承認された。

11. 学部教育前期課程「本郷文系研究所フロンティア講義」の実施等について

柘屋研究企画委員長から、資料P20～24のとおり、社会科学研究所を幹事部局、自身が本研究所の幹事教員となり、来年度より開講することとなる旨説明があり、承認された。なお、本研究所が担当する講義（4回）のうち、2回は自身が担当する予定であるが、ほか2回の講義について協力いただきたい旨要請があり、出講可能である場合は今月末までに申し出いただきたい旨補足があった。

12. 教員の任期に関する規則等の改正について

高見澤所長から、資料P25～26に基づき、新世代アジア研究部門の教員ポストの任期を見直し、新たに「新分野開拓研究領域」ポストを設置、今後、同部門に採用となる准教授を本ポストに充てたい旨説明があり、承認された。

13. 教員の兼務について

高見澤所長から、来年度の情報学環流動教員となる3名（板倉、園田、真鍋の各教授）及び日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET）教員1名（後藤特任准教授）について、本研究所教員として兼務いただきたい旨提案があり、承認された。続いて、ASNETより、12月1日付け採用の朱助教について、今年度及び来年度、ASNET教員として兼務いただきたいとの照会が来ている旨説明があり、承認された。

14. 教員人事について

園田国際学术交流室選考委員長から、回収資料に基づき、特任助教（国際総合日本学教育研究ネットワーク構築プロジェクト担当）候補者について、選考過程、理由等の説明があり、投票の結果、選考委員会の推薦のとおり可決された。なお、本内定者の任期は、平成28年1月1日から平成29年12月31日までの2年間となる旨補足があった。

15. その他

① 柘屋研究企画委員長から、班研究に所属していない助教が「東洋文化研究所紀要」に投稿した場合、査読者となる教員が存在しないことから、いずれかの班研究に所属すべきではないかとの提案があり、様々な意見交換等が行われた。その結果、当面は当該事案の発生毎に査読者を探索すること、班研究に助教を含めるか否かについて、今後時間をかけて検討することとなった。

② 高見澤所長から、来年2月4日の教授会冒頭30分を用いて総長自らが「東京大学ビジョン2020」について説明される旨案内があった。

以上